

◆九州新幹線はすでに走り始めていました

★

平成23年3月開業予定の九州新幹線。実は、熊本市の長嶺というところで、すでに走っていました。最先端の車両でした。

★★

熊本県を中心に多店舗展開する、回転寿司の「九州すし市場」。たぶん九州内であれば、主要都市にはあると思います。今日、お昼に入ってみたら、びっくり。回転寿司店がITを駆使したハイテク・アミューズメント系飲食店に変貌していました。

いったいどこがIT、ハイテク、アミューズメント系か？

①注文はタッチパネルで

席に着くと、ちょうど目の高さに14インチくらいの液晶画面(タッチパネル)があって、そこに寿司ネタの写りが載っている。タイ、ハマチ、サーモンというように写真をタッチし、「注文」をタッチすると、選んだネタと数の一覧が表示される。間違いなければ「確定」をタッチする。後は、待つだけ。・・・ちょっと前までは、お茶筒みたいなのに注文の紙とエンピツ(頭に消しゴムつき)が入れてあって、それに注文を書いて店員に渡すとか、言えば店員が書いてくれてたのに・・・。

②寿司を運ぶレーンは2階建て

寿司レーンの1階は、見慣れた回転寿司の、あのレーン。回転寿司の名の元になった、円形のウロコ状の板が並んだ、ベルトコンベアー装置(これは、特許だったらしい)。ここには、例によってクルクルと寿司ネタが流れ続ける。

タッチパネルで注文した寿司は、2階のレーンを新幹線に乗って運ばれてくる。2階のレーンには、ベルトコンベアーみたいな仕掛けはない。アルミかなにかの、深さ2センチ程度のツルツル・ピカピカの溝。幅は1階レーンと同じ程度。このレーンを、注文した寿司の皿を乗せた「新幹線」が、かすかな音を立て滑るように走ってくる。新幹線は、目の前のタッチパネルのところでピタリと止まり、皿をとり、タッチパネル横に点灯しているランプのスイッチを押すと、またスルスルと厨房に戻っていく。

③1皿210円のを注文すると、スロットゲームが1回できる。

タッチパネルで、「開始」をタッチするとルーレットが回り、パチンコのフィーバーのように、同じ寿司ネタの絵が3つ並んだら当たり。

★★★

定年退職して時間もお金もありそうな熟年夫婦、夏休みに入ったばかりの小学生を連れた3世代ファミリー、近所の住宅に電気工事で来ている風なおじさん、・・・みんなタッチパネルを上手に使いこなしていました。私は、新幹線で寿司が来るとは思ってもいなかったのに、目の前に停車中の新幹線に気付かず、店員さんに皿をとってもらいランプのスイッチを押してもらい、新幹線がスルスルと動き出すのを見て、はじめてシステム全貌を理解したのでした。

いつもは板前さんと対話しながら、「次はコハダ握ってくれ」とか言う、そんな寿司屋にしかいかないものだから・・・、いやー、日本って国は、すごいんだかなんだか、もう。

お知らせ：全国まちづくり会議 in 熊本が、10月9日、10日にあります。

現在、出展参加者を募集中です。詳しくは、webサイトで。「全まち」で検索。

<http://sites.google.com/site/zenmachi2010/zen-machi-2010inkumamoto>